

令和5年度(2023年度)第2回 豊中市保健医療審議会 議事録

1. 日 時 令和5年10月26日(木) 14時00分～15時00分

2. 場 所 保健所事務室(オンライン併用会議)

3. 案 件

- (1) 健康づくり・食育推進計画 諮問
- (2) その他計画 報告

4. 出席者 (敬称略)

(1) 委員(名簿順) : 11名

委 員	横山 美江	(大阪公立大学)
	林 宏一	(武庫川女子大学)
	西田 千佐	((一社)大阪府助産師会)
	飯尾 雅彦	((一社)豊中市医師会)
	近藤 篤	((一社)豊中市歯科医師会)
	芦田 康宏	((一社)豊中市薬剤師会)
	今井 誠	((社福)豊中市社会福祉協議会)
	坂本 勇二郎	(豊中市病院連絡協議会)
	小池 由久	(豊中商工会議所)
	古川 悦子	(豊中市健康づくり推進員会)
	松本 麻梨恵	(市民委員)

(2) 傍聴者 : 0名

議事概要

○開会 14時00分

■審議会の成立要件の確認

委員数12名のうち、11名出席により成立。

■案件(1) 健康づくり・食育推進計画 諮問

【事務局から計画について、資料1を用いて説明。】

【質疑応答】14:30～

委員	数値目標において妊娠11週以下での妊娠届が現状では97.6%となっているが、これは飛び込み出産があるということか。
事務局	令和4年度に飛び込み出産はなかったが、区分上11週を超えて届出がされたケースがある。また、飛び込み出産も例年数例はあるのが実情。
委員	むし歯のないこどもを増やすと記載されているが、学校での食後歯みがきや歯科衛生士学生の清掃指導などコロナ禍で取組みが中止されたままのものがあるため、再開するよう行政からの働きかけが必要。また、全世代の歯科健康診査へも言及されているが、18～29歳は健診への助成がないため受診率が低い。この世代に対するフォローも必要ではないか。
事務局	歯科担当と協議しながら提案された課題へ対応していく。
委員	食育への関心を増やしていく取組みについて、関心はあるが正しい情報にアクセスできていないという人もいる。興味をひくようなテーマを掲げながら正しい知識を伝えるよう取り組んでほしい。
事務局	正しい知識の普及啓発を常に意識してターゲット層へ情報を届けていく。
委員	数値目標における現状値は新型コロナの影響を受けたものもあると思うが、特段の取組みがなくても目標値に近づいていくものもあるのではないか。
事務局	けんしん受診率などは新型コロナの影響を受けてコロナ前よりも大幅に下がっているが、従前の取組みを継続するというだけでなく、新しい生活様式に沿った形でデジタル技術など新しい取組みを交えながら、これまで情報が届いていなかった層へもアプローチできる施策を進めていく。
委員	素案は全体的にバランスが取れている。食育に係る内容は今後開催される食育部会でも意見を取りまとめていく予定としている。

委員	子どもの居場所づくりに関して、不登校の子供が増加していると聞いているが豊中市の状況はどうなっているか。また、子ども食堂についても豊中市ではどのように進めているのか。
委員	子ども食堂は社会福祉協議会で子どもの居場所づくりネットワーク事業でも実施しており、市内 32 か所で実施している。一般から食料を提供してもらおうフードドライブ事業と連携しながら進めている。
事務局	不登校児が増加していることは把握しており、市議会でも報告され、市として子育て支援の充実・強化に取り組んでいる。学校保健に関しては、学務保健課、学校保健会と連携しながら対応していく。

■案件（２） その他計画 報告

【事務局から説明。】

【質疑応答】 14：45～

質疑なし

■その他

事務局	次回は 12 月頃を予定している。そこでは今回の健康づくり・食育推進計画諮問に係る答申をいただく予定。
-----	---

○閉会 15時00分